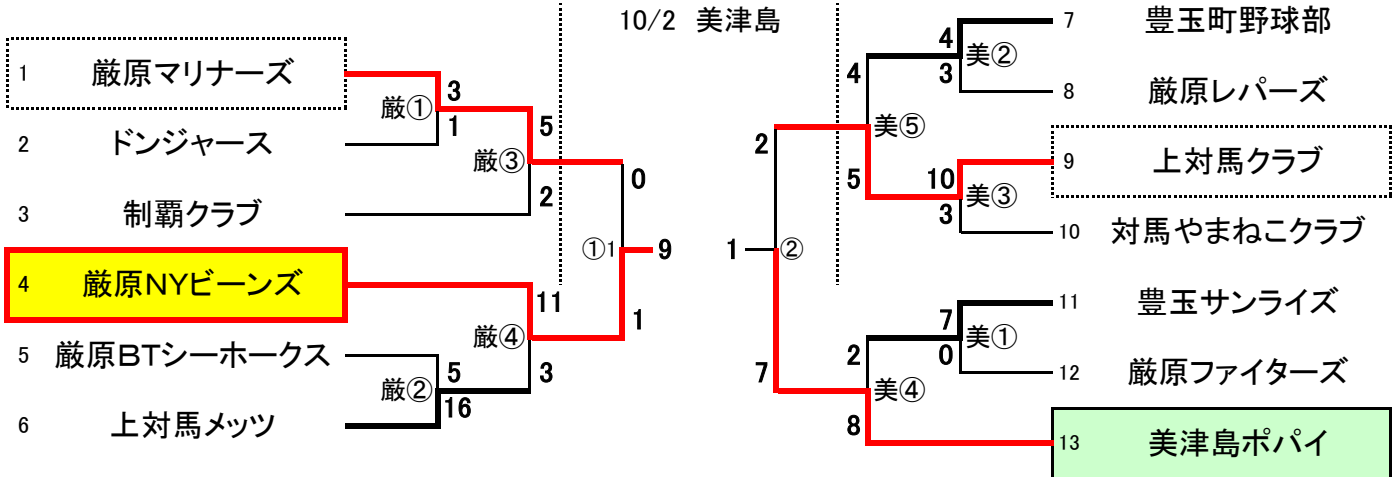


第16回 対馬軟式野球選手権大会

第1日 9月11日(日) 厳原野球場、美津島野球場
 第2日 10月2日(日) 美津島野球場

第2日の組み合わせは再抽選



【一回戦】 敵① 09:27～ 1時間08分

ドンジャース	000 010 0	1
厳原マリナーズ	000 201 X	3

【二】 武田、神宮

今季の天皇賜杯と島民体育大会を制した厳原マリナーズに対してドンジャースが健闘した。四回の2点を追う五回表に四球を足場に武田の左線二塁打で1点差に迫ったが、三星を踏んだのがこの回だけでマリナーズに逃げ切られた。

マリナーズは初回無死一塁を遊飛併殺で潰した後に敵失と四球の二三塁も逸した。だが四回一死二塁に神宮の右中間二塁打で先取すると坂上も左適時打して優位に立った。六回には二ゴロ悪送球で得た一死三星に神宮の右犠飛で加点した。

【審判：小田創生ほか厳原ビーンズ4名】

【ドンジャース】 打安点球

⑥長岡 亮	3 0 0 0
⑤井村 昭洋	2 0 0 1
⑦上松 洋	3 0 0 0
⑧阿比留洋五	3 0 0 0
②阿比留克博	3 0 0 0
④中嶋 洸祐	2 0 0 1
①中庭 俊樹	1 1 0 0
H阿比留伸博	1 0 0 0
⑨吉村 貴志	3 1 0 0
③武田 浩二	1 1 1 1

犠1振7残4 22 3 1 3

【厳原マリナーズ】 打安点球

④5黒岩 克成	3 1 0 0
⑥鬼橋 佑介	3 0 0 0
⑨中村 裕也	3 0 0 0
⑦岩本 一也	1 0 0 2
③神宮大司朗	2 1 2 0
②1白石 勝太	3 0 0 0
①坂上 仁志	2 1 1 0
4武本龍太郎	0 0 0 0
⑤2宮原 大輔	2 0 0 0
⑧山代 毅	2 0 0 0

犠1振0残3 21 3 3 2

【一回戦】 敵② 10:45～ 1時間55分 (5回コールドゲーム)

厳原BTシーホークス	050 00	5
上対馬メッツ	415 6X	16

【三】 板井

【二】 河本、板井

上対馬メッツが長短9安打に8四死球や暴投、捕逸などを絡めて16点を奪い5回コールド勝ちした。初回には連続四球の二者を板井の右越え三星打で還した後に四球押し出しなど打者9人で4点。二回は四球の小島が二三盗後に中村の犠飛。三回も先頭河本の二塁打を口火に敵失に恵まれて9人攻撃で5点。四回は打者11人が5長短打と4敵失で出塁し塁を駆け回り6人が本塁を踏んだ。

シーホークスは初回一死二三塁の先制機を逃がした後の二回にメッツ先発の浦崎から、淵上の安打を間に8連続四球を得、3個の暴投生還などで5点を挙げ一時は逆転したが、急遽登板の財部に二者を抑えられ、三回以降は三星を踏めなかった。

【シーホークス】 打安点球

⑧小島 亮一	3 1 0 1
②1諫山 裕也	1 0 0 2
⑥2神宮 保夫	2 1 1 1
①4早田 光治	2 0 0 1
③中山 貴美男	2 0 0 1
⑤多田 智樹	2 1 0 1
④淵上 泰光	2 1 1 0
6多田 直樹	1 0 0 0
⑨中庭 一穂	1 0 0 1
H宇田 朗	1 1 0 0
⑦竜田 洋平	2 0 0 1

犠0振3残8 19 5 2 9

【上対馬メッツ】 打安点球

④5小島 圭祐	2 1 1 2
⑥中村 朝輝	2 1 2 1
⑧9板井 将之	3 2 3 1
②小宮 光	4 1 1 0
③河本 法満	2 1 0 0
4平間 友則	2 1 0 0
①8浦崎 亮真	3 0 0 1
⑦松村 克広	2 1 1 1
⑤3梅野 恭平	2 1 3 1
⑨糸瀬 力	1 0 0 0
1財部 晃	1 0 0 1

犠1振2残5 24 9 11 8

【審判：武田浩二ほかドンジャース4名】

【一回戦】 美② 10:45～ 1時間53分

厳原レパーズ	000 300 0	3
豊玉町野球部	000 000 4x	4

【二】 森田2、小島

豊玉が最終回二死一三塁から4連打で3点差を逆転サヨナラ勝ちした。この回一死後に築城が出、扇が四球。二塁ゴロで一三塁となって森田が試合2本目の二塁打を左越えに打ち1点差。返球が逸れる間に三進し横瀬の右前打で同点。小島も中前に転がし一三塁。ここで長郷が左線打して逆転した。

豊玉はそれ以前にも5安打に敵失や四球で毎回走者を送るも厳原・木屋の丁寧なピッチングに後続を断たれていた。

対するレパーズは豊玉の3投手から14四死球を得ながら拙攻続き。得点となったのは四回二死から敵失を間に4四球で押し出しの2点。急遽登板の横瀬からも田中が選んで3点目。だがその後登板の扇からも五、六、七回と先頭から二者連続四球の追加点機も三者凡退で逸し、粘投の木屋に報えなかった。

【厳原レパーズ】 打安点球

⑥田中 淳也	1 0 1 2
⑧扇 裕二	4 0 0 0
①木屋 勝也	3 0 0 1
⑤川崎 仁	1 0 0 3
⑦立石 泰之	2 0 0 2
⑨阿比留裕介	2 0 0 0
H9佐伯 淳	1 0 0 0
H9舎利倉政司	1 0 0 0
③林田 芳和	3 1 0 1
④志賀 慶二	2 0 1 2
②阿比留新吾	0 0 1 3

犠1振6残10 20 1 3 14

【豊玉町野球部】 打安点球

⑤1扇 祥喜	3 0 0 1
⑥上野 哲平	4 0 0 0
④森田 将平	4 2 2 0
③15横瀬 弘樹	4 1 1 0
①8小島 洋平	4 2 0 0
⑦9長郷 健彦	4 2 1 0
⑧7梅野 譲治	3 0 0 0
②波田 一徹	1 0 0 0
H2村瀬 裕亮	1 0 0 1
⑨小山 信之	1 0 0 0
3阿比留慎太郎	1 1 0 0
H築城 貴憲	1 1 0 0

犠0振4残7 31 10 4 2

【審判：山田聡ほか厳原ファイターズ4名】

【一回戦】美③ 12:54～ 1時間27分 (6回コールドゲーム)

対馬やまねクラブ	102 000	3
上対馬クラブ	430 201x	10

【二】梅野2、武末

初回に1点先制された上対馬クラブは敵失で出た武末が三進し暴投で還り、四球と安打の二三塁に梅野加の2点二塁打であっさりと逆転。二回にも二塁打の武末が暴投で還った後に四球と敵失走者を中原と梅野加の連続タイムリー打で還すと、四回には先頭から連続安打の小島と佐護が中原と扇の犠飛で還るなどそつなく加点していった。7点差のワールドを決定付けたのは六回に四球の中原を二塁に置いて梅野が試合4安打目は左線へ二塁打。

やまねこは初回に四球、敵失、野選で無死満塁とし、遊ゴロ本封後の一塁転送悪送球で先取点。三回は四球を間に小田と山城が安打の一死満塁に原田が右前に落として二者を迎え入れ食い下がったが、七回の攻撃は無かった。

【対馬やまねこ】打安点球

⑥柴田 孝文	2 0 0 1
⑦阿比留昭実	3 0 0 0
④小田保比古	3 1 0 0
①5中庭 貢	2 0 0 1
③山城 啓資	2 1 0 0
H2吉田 栄	1 0 0 0
②原田 初見	2 1 2 0
H9古瀬 宙	1 0 0 0
⑧渡辺 博美	3 1 0 0
⑨3吉本 誠一	3 0 0 0
⑤斉藤 芳久	2 0 0 0
1阿比留善雄	1 0 0 0

犠0振5残6 25 4 2 2

【審判：阿比留新吾ほか厳原レパーズ4名】

【上対馬クラブ】打安点球

⑧武末 太	2 1 0 0
6梅野 英和	2 0 0 0
⑥8小島 健	2 2 0 2
⑦1佐護 正己	4 2 0 0
①7中原 恵一	2 1 2 1
②梅野加寿人	4 4 4 0
④神宮 仁	2 0 0 1
⑤扇 太志	2 0 1 0
③浦崎 裕亮	3 0 0 0
⑨板井 俊哉	3 0 0 0

犠2振1残7 26 10 7 4

【一回戦】美① 09:06～ 1時間23分 (6回コールドゲーム)

厳原ファイターズ	000 000	0
豊玉サンライズ	501 001x	7

【三】津屋

【二】津屋、永留佳

初回に豊玉サンライズが鮮やかな先制攻撃を見せた。先頭の築城がバントヒット。投手牽制球で挟まれたが悪送球で二進後に阿比留が中前適時打。津屋も三塁線をライナーで抜く適時二塁打。一死後に小嶋の安打と四球の満塁で安藤が右前に転がし、後逸の間に二走と一走も還り一挙5点を奪った。

三回には悪送球で生きた二塁走者を作元の適時打で還すと7点差を付けるとどめは、六回先頭の永留が右中間二塁打し捕逸三進後に四球の一三塁に一塁牽制悪送球でワールド成立。

厳原ファイターズは攻撃にも元気がなく、初回こそ敵失と四球で一死二塁としたが二回以降は1安打1敵失走者のみ。

【厳原ファイターズ】打安点球

⑥山田 聡	3 0 0 0
⑧米田 裕介	2 0 0 0
①永留 和秀	2 0 0 1
③松本 浩毅	3 0 0 0
⑨波田 猛詩	2 0 0 0
⑤扇 龍二	2 0 0 0
⑦山田 茂	2 1 0 0
④斉藤 勇樹	2 0 0 0
②長瀬 幸一	2 0 0 0

犠1振4残4 20 1 0 1

【豊玉サンライズ】打安点球

⑤築城 公則	3 1 0 0
⑧阿比留寿也	3 1 1 0
⑥津屋 敏彦	3 2 1 0
③松井 直輝	3 0 0 0
①小嶋 忠志	3 1 0 0
④作元 政志	2 1 1 1
⑨安藤 智教	2 1 1 1
②永留 佳祐	3 1 0 0
⑦井上 誠一	2 0 0 1

犠0振6残5 24 8 4 3

【審判：小島一輝ほか美津島ポパイ4名】

【二回戦】厳③ 12:52～ 1時間33分

厳原マリナーズ	202 001 0	5
制覇クラブ	002 000 0	2

【三】小宮

【二】斉藤啓

2本の内野安打の無死二三塁に白石の2点中前打で先制したマリナーズは、三回には山代と宮原が四死球出塁をバントに進めた後に、神宮の遊ゴロが本塁への野選と岩本の一ゴロによりノーヒットで2点を追加した。さらに六回は代わった日下部に対し敵失で生きた黒岩を二塁に置いて鬼橋の左中間打適時打でダメ押し点を挙げた。

制覇クラブは三回、先頭の斉藤啓が左二塁打。三進後に小宮の右線三塁打と返球ミスの際に本塁を陥れて2点を返したが、四回以降は2四球走者のみに抑えられた。

【審判：神宮保夫ほか厳原BTシーホークス4名】

【厳原マリナーズ】打安点球

⑦山代 毅	2 1 0 2
⑤宮原 大輔	2 1 0 1
②白石 勝太	3 1 2 0
③神宮大司朗	2 0 1 2
①岩本 一也	3 0 1 1
⑨中村 裕也	4 0 0 0
④黒岩 克成	3 0 0 0
⑥鬼橋 佑介	3 1 1 0
⑧武本龍太郎	2 0 0 1

犠2振4残7 24 4 5 7

【制覇クラブ】打安点球

⑥小宮 茂輝	3 1 1 0
③7須川 栄作	3 0 0 0
⑧日下部 達也	2 0 0 1
②1日下部 智久	2 0 0 1
①5三槻 伸也	3 0 0 0
⑤3斉藤 良樹	3 0 0 0
④斉藤 啓太	2 1 0 0
⑦2糸瀬 慎吾	2 0 0 0
⑨高原 吉弘	1 0 0 0
9丸島 敦	1 0 0 0

犠0振4残1 22 2 1 2

【二回戦】厳④ 14:39～ 2時間12分

厳原NYビーンズ	000 233 3	11
上対馬メッツ	100 200 0	3

【三】川崎

【二】小田、河本 梅野恭、板井

四回を終ってメッツが1点リード。だが五回から登板した米田がこの回に4連続を含む5四球と乱調で二死満塁から連続暴投に押し出し点で逆転を許すと、六回にも打者9人に6四死球は2個の押し出しと暴投で3失点を与えるなど試合を味気ないものにしてしまった。さらに七回にも代わった板井が四球を足場に小田と米田に長短打を浴び、暴投に川崎の犠飛などで3失点した。

四回の攻防までは好ゲーム。初回のメッツは四球と小宮が安打の二死二三塁から三ゴロ失で先制すると、ビーンズが四回二死二塁から川崎と梅野の連続長短適時打で逆転に成功。だがその裏のメッツは河本の二塁打に四球の二死二三塁から梅野が左越え逆転二塁打して白熱の試合を展開していたが、五回以降は一方的となり、2時間を超える試合となった。

【厳原NYビーンズ】打安点球

④豊永 昇平	3 1 0 2
⑧津野 裕二	2 0 0 3
⑥小田 剣生	4 2 0 1
②米田 宏之	4 1 1 1
⑤作元 功照	0 0 0 5
③久和 貴博	3 0 0 2
⑦川崎 貴夫	2 1 2 2
⑨梅野 直樹	2 1 3 1
H西山 雅美	0 0 0 1
4松本 拓之	1 0 0 0
①阿比留祐一	3 0 0 1

犠1振2残12 24 6 6 19

【上対馬メッツ】打安点球

⑥小島 圭祐	3 0 0 0
H松村 克広	1 0 0 0
④平間 友則	2 0 0 1
H糸瀬 力	1 0 0 0
⑨1板井 将之	3 1 0 0
⑦小宮 光	3 1 0 0
③河本 法満	3 1 0 0
⑧財部 晃	1 0 0 0
H8浦崎 亮真	1 0 0 1
②扇 則昭	2 0 0 1
⑤梅野 恭平	3 1 2 0
①中村 朝輝	2 0 0 0
19米田 周市	1 0 0 0

犠0振3残5 26 4 2 3

【審判：神宮大司朗ほか厳原マリナーズ4名】

【二回戦】美④ 14:36～ 1時間40分

美津島ポパイ	000 044 0	8
豊玉サンライズ	000 011 0	2

【三】松井、阿比留
【二】小島、中尾

両チームの先発投手とも四回までに1安打走者のみの快調な試合が続いていたが、一回戦からの連投となる小嶋が五回に捕まった。一死後に西山から右前に運ばれ二死となつたところで二塁牽制悪送球で三進させ、続く投ゴロを自らのエラーで三走を還し石橋の安打で一三塁。ここで川崎の左前適時打と三ゴロ悪送球に暴投などで4失点した。

ポパイは六回にも代わった津屋に対し先頭の小島と中尾が連続二塁打。四球と悪送球で2点目に続き黒岩の左適時打に石橋の右犠飛でこの回も4点を挙げた。

ポパイの中尾は四回まで7三振を奪い好調だったが、五回先頭の松井に右中間三塁打され続く遊ゴロ失で1点。六回には先頭の四球走者を捕逸、三盗、暴投で還したが、大量得点に

【美津島ポパイ】打安点球

⑦川崎 滉祐	4 2 1 0
④江嶋 潔	1 0 0 0
H48 浦 将史	2 0 0 0
⑥村瀬 恵二	4 0 0 0
⑤小島 一輝	4 1 0 0
①中尾 寿憲	4 1 1 0
⑧西山 哲也	2 1 0 1
4 嶺 桂太	0 0 0 0
③田中 健一	3 0 0 0
②黒岩 隆樹	3 1 1 0
⑨石橋 隆弘	2 1 1 0

犠2振4残3 29 7 4 1

守られてチームを2年連続の準決勝戦に導いた。

【審判：原田初見ほか対馬やまねクラブ4名】

【豊玉サンライズ】打安点球

⑦波多野健一	2 1 0 1
⑤築城 公則	3 0 0 0
⑧阿比留寿也	3 1 0 0
⑥1 津屋 敏彦	3 0 0 0
③松井 直輝	3 1 0 0
①6 小嶋 忠志	3 0 1 0
④作元 政志	1 0 0 2
②永留 佳祐	3 0 0 0
⑨安藤 智教	3 0 0 0

犠0振9残5 24 3 1 3

【二回戦】美⑤ 16:32～ 1時間46分(延長8回は無死満塁制)

豊玉町野球部	000 001 03	4
上対馬クラブ	000 010 04x	5

【二】森田

四回まで0-0の均衡を破ったのは五回裏の上対馬。四球と武末が安打の二死一三塁に重盗を仕掛け三走の浦崎が本塁を突いた。だが豊玉もすかさず同点とした。敵失と内野ゴロで二進の森田が横瀬の三ゴロ悪送球の間に三塁をオーバーラン。捕手に返ったボールを三塁送球したがこれを逸らす間に再びタイスコアに戻した。

後は両チームとも決め手を欠いて延長八回は無死満塁制。先攻の豊玉は打順良く1番からで扇が中前に転がし二者生還。続く投ゴロの二三塁に森田の左犠飛で3点目を挙げた。

上対馬は9番梅野が二ゴロ本封後に、武末が左前に流し打ち。小島は中前に転がし、佐護が選んで押し出して同点。中

【豊玉町野球部】打安点球

⑤扇 祥喜	3 1 2 1
⑥上野 哲平	4 0 0 0
④森田 将平	3 1 1 0
②村瀬 裕亮	2 0 0 2
③横瀬 弘樹	3 0 0 0
①小島 洋平	3 0 0 0
⑦長郷 健彦	3 0 0 0
⑧梅野 譲治	2 0 0 1
⑨波田 一徹	3 0 0 0

犠1振2残6 26 2 3 4

【上対馬クラブ】打安点球

⑧武末 太	4 2 1 0
⑨小島 健	4 1 1 0
①佐護 正己	1 0 1 3
⑦中原 恵一	4 0 0 0
②梅野加寿人	3 0 1 1
④神宮 仁	3 0 0 0
⑤扇 太志	3 0 0 0
③浦崎 裕亮	2 0 0 1
⑥梅野 英和	3 1 0 0

犠0振0残7 27 4 4 5

原が投ゴロ本封に倒れた二死後に、豊玉の小島から投げられた球は梅野加の身体に当たりサヨナラ…。

【審判：波多野健一ほか豊玉サンライズ4名】

【準決勝①】 10:00～ 1時間51分

厳原NYビーンズ	000 001 0	1
厳原マリナーズ	000 000 0	0

ビーンズがノーヒット勝利した。六回二死後に田中が歩くと作元の遊ゴロを一塁手が捕球ミスし一三塁。阿比留の二塁ゴロが失策を招いて決勝点を挙げた。それまでのビーンズは初回に3四死球で二死満塁の好機を逸していた。

マリナーズは二回以降は毎回の走者を出したが、田中の粘投の前に本塁が遠かった。惜しかったのは三回。先頭の岩本が内野安打で出、犠打二進。二死後に宮原が中前にライナーのヒットし岩本は三塁を回ったが本塁寸前で好返球に憤死した。四回も坂本と神宮が連安打の無死一三塁に捕手牽制球で三走が挟殺。続く一死二三塁も後続を断たれ、五回以降も得点圏に走者を残して、田中から封じられた。

【審判：藤島、松尾(ℓ)、山田(フ)、川崎(ℓ)】

【厳原NYビーンズ】打安点球

⑧豊永 昇平	4 0 0 0
⑥坂元 迅	3 0 0 1
⑤4 小田 劍生	2 0 0 1
②米田 宏之	3 0 0 0
①田中 宏	0 0 0 3
③久和 貴博	1 0 0 0
3 作元 功照	1 0 0 0
⑨梅野 直樹	2 0 0 0
5 阿比留祐一	1 0 0 0
④9 松本 拓之	3 0 0 0
⑦川崎 貴夫	2 0 0 1

犠1振3残7 22 0 0 6

【厳原マリナーズ】打安点球

⑨山代 毅	1 0 0 0
9 中村 裕也	3 1 0 0
⑤宮原 大輔	4 1 0 0
⑦坂本 元太	3 1 0 0
③神宮大司朗	2 1 0 1
②白石 勝太	2 0 0 1
④黒岩 克成	2 0 0 0
H 石崎 博巳	0 0 0 1
4 福島 剛士	3 0 0 0
⑧武本龍太郎	3 0 0 0
①岩本 一也	2 1 0 1
⑥鬼橋 佑介	0 0 0 0
H 坂上 仁志	1 0 0 0

犠2振3残8 26 5 0 4

【準決勝②】 12:06～ 1時間33分

美津島ポパイ	030 022 0	7
上対馬クラブ	000 200 0	2

【審判：吉野、江口(マ)、内山(ℓ)、川崎(ℓ)】

三回に小島の安打と四球をバントで進塁した後に遊ゴロ悪送球で二者が還り更にボークで加点了ポパイは、五回には四球を足場に小島の適時打に二盗と暴投で三進後、中尾の二ゴロで還り2点を追加。六回は二死後に嶺、川崎の連安打に四球の満塁から敵失に恵まれて二者が還った。

上対馬クラブはポパイ・中尾の前に8三振を喫し、四回に振り逃げの小島を三塁に置き中原の安打と、三塁に進んだ中原を扇太が適時打して追いついたが、五回以降は三者凡退に倒れて、決勝戦進出ができなかった。

【美津島ポパイ】打安点球

⑦川崎 滉祐	4 1 0 0
⑧田口 憲一	2 0 0 2
⑥村瀬 恵二	2 0 0 1
3 西川 典夫	0 0 0 0
⑤6 小島 一輝	4 2 1 0
①中尾 寿憲	3 0 1 1
③5 田中 健一	3 0 0 0
②黒岩 隆樹	4 1 0 0
⑨波田 正嗣	3 0 0 1
④嶺 桂太	4 3 0 0

犠2振3残8 29 7 2 5

【上対馬クラブ】打安点球

③浦崎 裕亮	3 0 0 0
⑥小島 健	3 0 0 0
④洲河 直樹	3 0 0 0
⑦中原 恵一	3 1 1 0
①梅野加寿人	3 0 0 0
⑤扇 太志	3 1 1 0
⑧扇 伸彦	3 0 0 0
⑨板井 俊哉	1 0 0 1
②神宮 仁	2 1 0 0

犠0振8残2 24 3 2 1

【決勝】 13:53～ 1時間25分 (5回コールド)

厳原NYビーンズ	105 21	9
美津島ポパイ	000 10	1

【二】小田2、田中

B級のビーンズが貫禄でC級のポパイにコールド勝ちした。初回に安打の坂元が敵失の間に還って先制したビーンズは、三回に先頭小田の二塁打から2死四球2敵失に松本の2点適時打や豊永の適時打など10人攻撃で5点を奪い試合の大勢を決めた。更に四回は代わった田口から二塁打の田中と四球の二三塁から川崎の中犠飛に敵失で2点を追加。五回にも死球後に坂元、小田の連続短打で加点した。

ポパイは対馬選手権で初の決勝戦進出。準決勝戦を勝利したことで来年度の西日本2部県大会の出場権を獲得した気の緩みがあった訳では無かろうが攻撃にも元気が無く、四回に先頭が四球で出、田中が内野安打の二死二三塁から敵失で1点を返したに止まり、ビーンズ阿比留の丁寧なピッチングに打者19人で終えた。

本大会の最優秀選手賞は準決勝の厳原マリナーズを完封した田中宏(厳ビ)。優秀選手賞に阿比留祐一(厳ビ)と中尾寿憲(美ポ)。敢闘賞が小田剣生(厳ビ)と川崎滉祐(美ポ)。打撃賞は準決勝戦で3安打の嶺桂太(美ポ)が6打数3安打で受賞。

2年ぶり四回目の対馬選手権覇者となった厳原NYビーンズ(写真前列中央は高松宏貴監督)は10月22、23日に長崎市で開催の「第61回長崎県軟式野球選手権大会」に出場する。なお同チームは平成18年の第56回大会で2勝してのベスト4に進出したことがある。

【厳原NYビーンズ】打安点球

⑧豊永 昇平	2 1 1 2
⑥坂元 迅	4 2 0 0
⑤小田 剣生	3 2 1 1
②米田 宏之	3 0 0 0
④田中 宏	3 1 0 1
③作元 功照	1 0 0 2
R3久和 貴博	0 0 0 0
⑦川崎 貴夫	1 0 1 1
⑨松本 拓之	2 1 2 1
①阿比留祐一	3 0 0 0
犠2振3残8	22 7 5 8

【美津島ポパイ】打安点球

⑦8川崎 滉祐	3 0 0 1
⑧1田口 憲一	2 0 0 0
③田中 健一	2 1 0 0
⑥小島 一輝	2 0 0 0
①7中尾 寿憲	2 0 0 0
⑨2黒岩 隆樹	2 0 0 0
④嶺 桂太	2 0 0 0
⑤西川 典夫	0 0 0 0
5浦 将史	2 0 0 0
②9波田 正嗣	1 0 0 0
H小島 勝也	0 0 0 1
犠0振2残3	18 1 0 2



対馬選手権大会 第1回大会からの準決勝以上の戦績

平成7年以前は、6町代表による対抗戦で対馬町村会長杯野球大会と称していた。

回	年	参加	【準決勝戦】	【決勝戦】	【県選手権大会】
1	H.8	17	上対馬ライオンズ 1-0 上対馬メッツ 厳原レパーズ 3-2 厳原ファイターズ	ライオンズ 000 000 000 0 レパーズ 000 020 00X 2	【一】7-12 西海棒球団(西彼)
2	H.9	22	上対馬メッツ 3-0 上県佐護リバース 大洋真珠クラブ 1-0 上対馬ライオンズ	メッツ 000 000 000 0 大洋真珠 000 000 04X 4	【二】4-5 鹿町バンビーズ(県北)
3	H.10	22	上対馬メッツ 1-0 美津島ポパイ 上対馬クラブ 5-2 厳原レパーズ	上対馬メッツ 000 102 020 5 上対馬クラブ 200 001 000 3	【二】3-7 ソニー長崎(諫早)
4	H.11	21	美津島マーシャルズ 3-0 上対馬メッツ 豊玉町野球部 7-0 佐賀エンゼルス	豊玉町 246 114 2 20 マーシャルズ 010 000 0 1	【二】7-1 平戸クラブ(平戸) 【三】0-3 親和銀行(推薦)
5	H.12	21	上対馬ライオンズ 3-0 佐賀エンゼルス 厳原レパーズ 1-0 大洋真珠クラブ	レパーズ 000 000 000 0 ライオンズ 000 001 01X 2	【一】4-8 福江球友会(福江)
6	H.13	20	厳原ファイターズ 3-2 美津島ポパイ 上対馬メッツ 6-4 厳原レパーズ	メッツ 000 100 000 4 5 ファイターズ 000 100 000 2 3	【一】0-1 波佐見クラブ(東彼杵)
7	H.14	20	厳原レパーズ 6-0 厳原マリナーズ 美津島マーシャルズ 4-3 豊玉サンライズ	マーシャルズ 000 000 000 0 レパーズ 001 000 00X 1	【二】1-4 若松クラブ(上五島)
8	H.15	19	厳原NYビーンズ 9-0 美津島フェニックス 厳原マリナーズ 4-0 峰ファイターズ	ビーンズ 010 000 002 3 マリナーズ 000 100 100 2	【二】0-2 波佐見鴻ノ巣(東彼杵)
9	H.16	18	厳原ブラボー 8-6 厳原フラクタイガース 厳原マリナーズ 3-1 厳原レパーズ	ブラボー 000 10 1 マリナーズ 105 02x 8	【二】5-0 県職五島(福江) 【三】2-3 親和銀行(推薦)
10	H.17	18	峰エンゼルス 4-1 厳原ファイターズ 上対馬クラブ 3-1 制覇クラブ	上対馬クラブ 303 000 03 9 エンゼルス 100 001 40 6	【一】5-2 平戸クラブ(平戸) 【二】1-8 TEAM橋口(大村)
11	H.18	17	上対馬クラブ 5-1 上対馬メッツ 厳原NYビーンズ 8-0 美津島クラブ	上対馬クラブ 000 000 0 0 ビーンズ 010 001 X 2	【一】4-1 たちばな信金(諫早) 【二】5-0 南串野球部(県南) 【準】0-9 三菱重工長崎(推薦)
12	H.19	16	上対馬クラブ 8-1 厳原ファイターズ 制覇クラブ 6-3 厳原フラクタイガース	制覇クラブ 001 100 0 2 上対馬クラブ 100 000 0 1	【一】0-2 親和銀行(推薦)
13	H.20	14	豊玉町野球部 6-2 厳原レパーズ 制覇クラブ 7-5 厳原フラクタイガース	豊玉町 203 31 9 制覇クラブ 101 00 2	【二】0-8 親和銀行(推薦)
14	H.21	13	上対馬メッツ 7-0 厳原マリナーズ 厳原NYビーンズ 棄権 豊玉サンライズ	メッツ 200 00 2 ビーンズ 112 34x 11	【一】2-6 アイケン医院(推薦)
15	H.22	14	上対馬メッツ 6-4 制覇クラブ 豊玉町野球部 7-0 美津島ポパイ	メッツ 100 00 1 豊玉町 1④4 1X 20	【一】4-5 若松クラブ(上五島) 【二】2-6 舩田グループ(上五島)
県選手権60回記念大会で対馬から2チーム出場し上対馬メッツは…⇒					